事例No.	2881
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	埼玉県北本市

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

事例９ 埼玉県北本市 合同会社暮らしの編集室 その１、その2

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会（第3回）

事例９　埼玉県北本市　合同会社暮らしの編集室　その１

団体名	合同会社暮らしの編集室		運営形態	合同会社
活動範囲	所在市区町村内全域			
中核を担う職員等	任用形態	非常勤	出身地	同一地域内
	年齢	30代		

【取組み概況】

○暮らしの編集室は北本市より、「マーケットの学校」企画運営業務、シティプロモーション業務、ふるさと納税を核とした地域活性化業務等の事業を受託している。

○ふるさと納税事業の受託では、返礼品を開発した地元の事業者への取材や写真撮影を行っており、メンバーが北本市の町場の人だからこそ話せる話題も豊富であり、地元の返礼品を深掘りし独自性を持たせることによって返礼品の価値を高めることに寄与している。

○暮らしの編集室が行っている「マルシェ」等のイベントやSNSを利用したシティプロモーションを通じて市民は地域とのつながり、交流が増加する中で市民自身が北本市の魅力を再発見している。

○暮らしの編集室の活動を通じて北本市の魅力を再発見することにより市内出身者が北本市役所に就職する際の動機になった事例もあり、市役所職員の中でも市に関与する意欲が増加している。

【設立の経緯】

○2019年より北本市中心市街地活性化事業（埼玉県NEXT商店街事業）の一環として市の担当課と合同でシェアキッチンを出展した。シェアキッチンの運営を契機として継続的かつ円滑な地域活性化事業を行うことを目的として合同会社を設立した。

事例９　埼玉県北本市　合同会社暮らしの編集室　その２

【行政との関わり】

○北本市は市内のまちづくり推進のため、**「マーケットの学校」企画運営**、**移住・創業小商い・地域活動ワンストップ支援**、**北本市WEB・SNS シティプロモーション**等の業務を暮らしの編集室に委託している。

○北本市と暮らしの編集室は、シェアキッチンの出展が契機となり関係性が構築された。

○北本市はくらしの編集室への各種事業の委託等を通じて、**イベント参加者のつながりが生まれたこと**、**市内の新たな魅力に気付く市民が増加したこと**、**関係人口の創出**などに成果を感じている。

【中核を担う者の状況】

○暮らしの編集室は３名のメンバーから構成されている。暮らしの編集室の２名は北本市出身で中学校の同級生で、１名は市外出身者である。

○取組みのきっかけになったのは2010年前後に北本駅西口の駅前改修について市民に開かれた会議が実施され、まちの調査、社会実験等を**町場の若者として**手伝っていた。その後、駅前広場として実現される段階になり、当初市の内部にあった観光協会を外部のNPOとして創設した。その際にA氏は観光協会に就職した。

○A氏はまちの仕事を観光協会として務めながら、**町場の人たちとの関係性づくり**、**役所との対話**を積み重ねている。

○B氏はフリーランスの立場として写真・美術関係で全国各地で仕事をしていたが、他の地域と比較して地元の北本市に地域活動を行う文化的な拠点が減っている事に対し危機感を持ち、元々の人脈を生かして市内でマーケットを開催するようになった。また、コロナ禍も契機となり**地元の北本市で日常的にやれること**を意識してマーケットの企画・店舗起業等の支援を行っている。

○C氏は近隣市町村出身者で、北本市が中心市街地活性化事業を実施している際に北本市に在住していた。建築事務所に勤務していた経験を生かして**店舗の設計やデザイン等の意匠の部分**で編集室に携わっている。